

10 周年記念式典に参加して (部会長)

文化部会長

食 - 5 裏地彦允

9 月 1 日午前 11 時。 第 2 部のパレードとパフォーマンスの始まりです。20 人のスタッフがそれぞれの持場で準備完了。司会者の開会宣言で、さあ、いよいよここから 80 グループのパレードが始まりました。まず、男声合唱団の歌声でのオープニングパレードでスタートしました。続いて、舞台でのパレードがプラカードを高々と掲げて、司会者のグループ紹介でスムーズに進行しています。担当者として今は何事もなく予定通りに終了する事を見守るばかりです。

思えば、6 月からこの日までの 3 ヶ月、本部、各部会長、文化部会で構成した 20 数名のスタッフが企画、検討してきた結果の総決算の日となりました。

実施に当たっての大きな課題は、100 分間という時間内で 80 グループのパフォーマンスを如何にスムーズに行うか、そしてグループ紹介をどのようにアピールするのかの点でありました。その為にプラカード板の選定からクラブ名の印刷、見易さ等検討を重ねプラカード 80 枚が 8 月に入って完成。そして各グループから提出さ

れた紹介原稿の編集と司会者による読み合わせ等で取り合えずの準備が整いましたが、計算上時間オーバーとなりどうすれば時間内で行なえるかが、大きな課題として残りました。その為にはスムーズなパレードの進行方法を検討し、8 月 21 日のリハーサルで確認する事になりました。その結果、何とか時間内に収める事が確認され大きな山を越したことになりました。又リハーサルでは趣向を凝らしたグループに刺激を受け、他のグループでも趣向を凝らすという思わぬ効果が生まれました。さらに各グループの積極的な参加意欲を強く感じ、当日の成功を確信できたのは嬉しい事でした。

そして当日、司会者の紹介アナウンスの中“明るく、楽しく、元気よく”パレードが進行しています。ちょっとしたアクシデントがありましたが、12 時 40 分予定通り無事終了。ちなみに、パフォーマンスに参加された方は 532 名でした。参加された皆様、スタッフの皆様ご苦勞様でした。



10 周年記念誌発行に際し、折角ご投稿頂きながら掲載できなかった田坪氏のお言葉をご紹介します。

グループ わ

設立 10 周年を祝して
(財) ひょうごこども家庭福祉財団

課長 田坪 直

グループ わ 設立 10 周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

「きょう一日、貧しい人や病んでいる人を助けるために、私の手をお望みでしたら、きょう、わたしのこの手をお使いください。」これはマザー・テレサが語った言葉です。

私どもでは、毎年秋に、障害のある子どもたちの福祉活動をすすめるための『こへき子どもの未来応援バザー』を開催しており、グループ“わ”の皆さまに、バザーの準備や当日の販売にお手伝い頂き、本当に有難いことと深く感謝いたしております。

最初皆さまとお目にかかったのは、今から 5 年前の 2002 年でした。以来、今秋で 6 回目のバザーを迎えようとしておりますが、実は私個人としても、皆さまにお会いできることを楽しみにしています。私より少し人生の先輩の皆さまに、お手伝いいただけてだけでなく、より良いバザーとするために、知恵やアイディアを出して頂いたり、普段もいろいろな活動のお話を聞かせて頂けるからです。

社会を良くするために、社会で困っている人たちのために活動されている皆様のお話をお聞きしていて、浮かんだのが冒頭のマザー・テレサの言葉です。最近、学校などで先生や友だちから「理解され難い存在」として置き去りにされがちな LD や ADHD といった軽度発達障害をもつ子どもたちへの支援が強く望まれて (次のページに続く)

須磨イルいきいき健やかフェスタ

保健士に健康体操を教えてもらおう お話「きちんと食べる食生活」
むかし遊びをしよう 紙ひこうき、紙トンボ、こま回し けんだま、
お手玉、ぶんぶんごま、さらまわし、動物風船など

日時 2007 年 11 月 17 日午後 1 時 ~ 3 時

場所 須磨一の谷プラザ 参加費 無料 (申込み先着順)

主催 NPO 法人社会還元センターグループわ

共催 須磨区役所

後援 (財) 長寿社会開発センター

申込み方法 参加者の名前、年齢、住所、電話番号をはがきか FAX で
あて先 651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内

NPO 法人グループ わ 1117 係 FAX 078-743-3830

お問い合わせ NPO 法人グループ わ 078-743-8101